

安全装置の選択

安全装置は次表により選択しましょう。一般に、左側の欄の安全装置ほど有効なものです。

○印：安全装置として使用できるもの

✕印：安全装置として使用してはならないもの

■印：現在、型式検定に合格した安全装置がないもの

安全装置 プレス種類	ガード式	両手 起動式	安全 一行程式	光線式	静電 容量式	手引き式	手払い式	
	プレス を両手 操作で 使う 場合	スライディング ピンクラッチプレス	○	○	✕	✕	✕	○
ローリング キークラッチプレス		○	○	✕	✕	✕	○	○
フリクション クラッチプレス		○	✕	○	○	○	○	○
油圧プレス (急停止機構付き)		○	✕	○	○	○	○	■
プレスブレーキ		■	✕	■	○	■	■	■
プレス 又は 足踏 み操 作で 使う 場合	スライディング ピンクラッチプレス	○	✕	✕	✕	✕	○	○
	ローリング キークラッチプレス	○	✕	✕	✕	✕	○	○
	フリクション クラッチプレス	○	✕	✕	○	○	○	○
	油圧プレス (急停止機構付き)	○	✕	✕	○	○	○	■
	プレスブレーキ	■	✕	✕	○	■	■	■

構造規格と型式検定

労働安全衛生法により安全装置は構造等についての規格（プレス機械又はシャーの安全装置構造規格）が定められており、この規格を満足していることが必要です。また、安全装置は型式検定に合格したものでなければなりません。

注意

足踏み操作の場合、動力プレス機械構造規格により、昭和53年1月1日以降に製造されたピンクラッチプレス、ローリングキークラッチプレスなどのポジティブクラッチプレス（毎分ストローク数が150以下で、かつ、圧力能力が150トン以下のものに限る。）には、上表の安全装置を付けただけでは有効な安全措置とはなりません。